

近畿地方整備局 様
淀川水系流域委員会 様

07/10/29 宇治「防災を考える市民の会」 梅原 孝

利水等の問題についての質問及び意見

多くのダムで、人口減、給水量減の中で利水計画が撤退されている中で、天ヶ瀬ダムのみ計画の変更がないのはなぜでしょうか。府、市においても需要増は考えられず、巨額の負担金額からみて必要の無い支出は、住民から理解されないものです。

すでに何十年と現状のダムで対応できていることからみれば、再開発の必要はないのではと考えます。見直しが必要ではないでしょうか。以下の質問点にお答えください。

- 1、原案についてP25、3.4 利水で「・・・暮らしを支えるため、これまでに高度に水資源開発がなされてきたが、近年においては少子高齢化社会の到来や人口増加の鈍化傾向等がみられるとともに、工場の海外移転や資源循環型への転換などの急激な変化により使用水量が減少している。このような状況の変化に応じて、開発水量と実績最大取水量に乖離が生じている。」とし、その下段では、「一方・・・また、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町の3市1町において人口の増加に伴って水道水の需要が増加している。」とされているが、この地域だけなぜ増加しているのか。実数での公表をお願いします。
- 2、原案・天ヶ瀬ダム再開発事業 61回委員会資料のP4、5では、取水量0.6トン/sの増が必要であるからとの説明ですが、すでに現行のダムで1975年から32年間にわたって取水され、何の支障も生じておらず、現行のダムで事足りおり、600トンもの放流量増を行う再開発計画の理由にすべきではないと考えますが。
- 3、原案に対する質問回答・No.267で「20年、30年後先の将来人口の見直しについては現時点で把握していません。」と河川管理者が回答しています。計画の見直しでは、一番大事なことが欠落しています。現実に宇治市では第4次総合計画の中で人口が減少していくとの方向を明確にしています。絶対に必要なものであり無駄な投資になれば取り返しがつきません。3市1町の将来人口の見直しについて明確にして判断すべきです。
- 4、再開発事業における総費用はいくらで、そのうち利水事業分の京都府及び3市1町の負担金はいくらになるのでしょうか。
- 5、発電量の増も見込まれていますが、関電の再開発事業における負担金はいくらになるのでしょうか。